

2020年度
第1期

主要5分野 専門研修会

今年度はWeb開催とします

全国どこでもご自宅で視聴でき、オンデマンドで何回も繰り返し視聴できます

WS1:教育・特別支援部会ワークショップ

エビデンスにもとづいた発達支援・教育支援

講師:山本 淳一(慶応義塾大学)

ライブ配信(A方式):2020年10月4日(日)13:00~16:00

録画配信(B方式):2020年10月10日~2021年1月10日

お待たせしました

WS4:福祉・障害部会ワークショップ

知的障害のある人のメンタルヘルスと心理的支援

講師:下山 真衣(信州大学)・岩佐 和典(就実大学)

ライブ配信(A方式)::2020年9月26日(土)13:00~16:00

録画配信(B方式):2020年10月1日~2020年12月31日

WS6:倫理・職責・関連法規部会ワークショップ

臨床現場におけるエビデンスに基づいた実践の方法論

講師:柳澤 博紀(犬山病院)・瀬口 篤史(西知多こころのクリニック)

ライブ配信(A方式)::2020年9月27日(日)13:00~16:00

録画配信(B方式):2020年10月1日~2020年12月31日

第1期として3本のワークショップを開催します。続いて第2期、第3期として数本を開催します

後援 **厚生労働省・文部科学省**

【参加方法】

公認心理師の会 Webサイト「研修会」ページよりお申込みください。

登録者は、A方式(ライブ配信)・B方式(録画配信)の両方に参加できます。

●A方式(ライブ配信)

Zoomによるライブ配信を3時間行います。登録者にはZoom URLをお伝えします。

チャットなどによる質疑応答が可能。参加希望の方は**ライブ配信3日前までに登録ください。**

●B方式(録画配信)

ライブ配信の録画を動画配信サイトに掲載します。登録者には動画URLをお伝えします。

動画は3か月間、繰り返し視聴できます。**配信期間終了10日前までにご登録ください。**

【参加費】 1ワークショップにつき 会員4000円 非会員6000円

【研修会についてのお問い合わせ先】 (株)ヒューマン・リサーチ human_2@abox3.so-net.ne.jp

一般社団法人 公認心理師の会 事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル 公益社団法人日本心理学会事務局内

ホームページ <https://cpp-network.com/index.html>



●WS 1 「エビデンスにもとづいた発達支援・教育支援」 山本 淳一（慶應義塾大学）

2010年以降、発達支援プログラムの効果に関するエビデンスが着々と蓄積されてきた。例えば、支援の場として日常環境を設定し、行動科学と発達科学の最先端の知見を融合した「日常環境発達行動支援法（Naturalistic Developmental Behavioral Intervention: NDBI）」の効果などが実証されている。また、発達障害支援に関しても、「限局性学習症」「自閉スペクトラム症」「注意欠如・多動症」への発達支援・教育支援プログラムの効果が示されている。本ワークショップでは、「エビデンスに基づいた実践（evidence-based practice）」を実現する上で必要な、先端的な発達支援方法、各発達障害に対応した支援プログラムを概観する。また、子どもたちひとりひとりに効果的な発達支援を提供するためには、「環境と個人との相互作用」に焦点を当て、支援方法を適合理化する必要がある。この点から、支援プログラムを、発達支援・教育支援の「文脈（context）」に適合させ、実践現場で活用するための技法とアセスメント方法を紹介する。スタッフ支援、ペアレントトレーニング、遠隔地支援（telehealth）、認知行動療法との融合、発達移行期に焦点をあてた包括的支援、行動問題の機能分析、ポジティブ行動支援などの実践と事例を具体的に提示しながら、ワークショップを進める。

●WS 4 「知的障害のある人のメンタルヘルスと心理的支援」 下山 真衣（信州大学） 岩佐 和典（就実大学）

知的障害のある人のメンタルヘルス不調の有病率は約20%で、一般の人に比べて高い割合で起きています。また、知的障害のある子どものメンタルヘルス不調の発症は、知的障害のない子どもに比べて4倍も高い状況にあります。従来では知的障害のある人へのカウンセリングや心理療法是適切でないと考えられることもありましたが、近年ではイギリス、オーストラリア、アメリカを中心に知的障害のある人への心理的支援（カウンセリング、認知行動療法、力動的心理療法など）が広まってきています。しかし、国内で知的障害のある人のメンタルヘルス不調や心理的支援に関する研修を心理師が受ける機会はほとんどない状態です。そこで本ワークショップでは、知的障害のある人のメンタルヘルスの理解を深め、事例をもとに心理的支援を検討する機会を提供します。ワークショップでは、知的障害のある人のメンタルヘルス、アセスメント、心理的支援の実際について扱います。

●WS 6 「臨床現場におけるエビデンスに基づいた実践の方法論」

柳澤 博紀（犬山病院） 瀬口 篤史（犬山病院）

心理学におけるエビデンスに基づく実践（EBPP）とは、大規模研究で得られたエビデンスの知見を日常臨床にそのまま適用することではありません。患者の特徴、文化および希望という枠組みのなかで得られる最新最善の研究エビデンスと臨床上の判断を統合させたもの（米国心理学会、2006）です。そのため臨床実践家には、目の前の対象者の状態や特性に合わせた柔軟な対応が求められます。私達は対象者に合わせた柔軟性の高い実践を行うために、できる限り客観的な行動を継続測定する重要性を提案しています（柳澤ら、2016など）。行動を継続的に測定することで、本当に「心理介入が必要なのか判断ができ、実施した介入の効果の有無を評価することができ、また介入の終了地点について妥当な判断をすることができるようになります。本ワークショップでは、実践事例の紹介、行動測定の基礎、心理面接から行動測定につなげる技術などを、講義及び演習を通じて理解を深めます。

各ワークショップの内容や講師紹介は Webサイト「研修会」ページをご覧ください。

<https://cpp-network.com/workshop.html>

【参加に関する注意事項】

どなたでも参加いただけます。公認心理師以外の方も歓迎します。

・2020年度の会員登録が完了して年会費を支払った方のみ会員参加費となります。会員登録途中の方や、年会費未納の方は、非会員会費となります。

・非会員・初参加の方は、Webサイトの「非会員・初参加の方」をご覧ください。新規ユーザ登録をさせていただく必要があります。

・先着順に受け付けます。定員に達し次第、受付を終了します。

・お支払いいただいた参加費は返金できません。

・予約が完了すると、メールが届きます。

・**配付資料や映像資料の録画・転送・転用は厳禁とします。**

配付資料や映像資料の無断での録画・転送・転用は法律違反となります。

受付の際に、遵守事項を個別に回答していただきます。遵守事項に合意した方だけ、その後のご連絡を差し上げます。

【A方式(ライブ配信)に関する注意事項】

・安定した電波状況のもとでご参加ください。電波状況によるトラブルには責任を負えないことをご了承ください。

・不測の事態などで配信が途切れることなどありえますがご了承ください。

その場合でも、B方式(録画配信)では最初から完全版を配信しますので、最初から視聴できます。

・対面開催に比べ、Web開催では質疑応答や演習などの効果が限られてしまうことをご了承下さい

【B方式(録画配信)に関する注意事項】

・動画配信URLは受講者のみにお知らせします。受講者以外への拡散は厳に禁じます。

・録画配信では質疑応答はできません。また、A方式(ライブ配信)とB方式(録画配信)では、内容が異なることがあることをご了承ください。